

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
16	山下いづみ（19）	<p>1. 耕作放棄地の再生・利用に花畑を造り養蜂を行うお花畑プロジェクトを導入しては</p> <p>生物多様性ふじ戦略2020-2030に挙げられている課題の一つに耕作放棄地がある。これは農業者の高齢化、担い手不足によるもので、全国的に問題となっている。耕作放棄地の増加は雑草や害虫の増加、外来種の侵入など生物多様性に影響が出ると考えられ、水源涵養機能の低下も懸念される。また、廃棄物の不法投棄の原因ともなる。</p> <p>本市においても耕作放棄地の再生利用に苦慮している。実際に荒廃農地等利活用促進交付金を活用し再生した農地面積は、平成27年度は36アール、平成28年度は27アール、平成29年度は39アールとあるが、直近の平成30年度、令和元年度はともにゼロである。</p> <p>全国で耕作放棄地の再生利用事例が幾つか見受けられるが、2015年秋に、山梨県甲府市で玉川大学ミツバチ科学研究センター、甲府市の養蜂家などが関わり農産官学で耕作放棄地のお花畑化プロジェクト推進協議会が設立され活動が始まった。地域の景観維持・美化、害虫抑制、獣害被害抑制に貢献をしている。花畑を造ることによって、ミツバチをはじめとする送粉昆虫の餌資源の創成にもなっている。また、このプロジェクトを知ったことがきっかけで、新潟県阿賀野市の事業者が農福連携で蜜源植物栽培をスタートさせ、第6回グッドライフアワード環境大臣賞優秀賞も受賞している。</p> <p>本市においても自然環境や生活を守るためにも、耕作放棄地対策の一つとして、お花畑プロジェクトを導入してはどうか。</p> <p>※お花畑プロジェクトの目標：「農地の再生」、「生態系の保全」、「生物多様性の促進」、「蜜源植物の増殖」、「養蜂及び農業の振興」</p> <p>2. 女性のキャリア形成と就労支援について</p> <p>新型コロナウイルス感染症によって、男性よりも女性の就労への打撃が大きいことが浮き彫りになった。これは雇用形態、職種、家庭内の役割と多角的なことに起因する。改めて女性のキャリア形成、就労支援を盤石にすることが必要だと考える。</p> <p>3年前、国が打ち出した、女性活躍加速のための重点方針2017では、Iあらゆる分野における女性の活躍の中に、「ライフイベントに対応した多様で柔軟な働き方の推進の項目」がある。その中に「個人の学び直し・復職・再就職支援」が位置づけられ、リカレント教育（※）推進に向けた施策を打ち出しているが、アフターコロナの時代、社会が大きく変わっていく中で新たな選択肢を得ること、学び直すことはこれからの時代には特に必要だと考える。</p> <p>そこで、以下3点について質問をする。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
16	山下いづみ（19）	<p>(1) 富士市キャリアデザイン支援室 f きゃるが行っていたキャリアデザイン講座など女性対象事業の状況と今後の計画はどのようなか。</p> <p>(2) 講座・情報収集、相談を網羅する継続的かつ総合的支援を充実させるために女性就労応援室を設けてはどうかか。</p> <p>(3) リカレント教育支援を行っている分野は何か。幅広く情報提供をし、活用できるよう支援策を打ってはどうか。</p> <p>(※) リカレント教育とは、義務教育を修了して社会人となった後でも、再び教育機関に戻って職業に必要な知識を身につける、就労と就学を反復する教育システムのこと。</p>	市長 及び 担当部長